

## 図書委員会からのお知らせ

一学期より、図書室が静かに賑わっていて、うれしい限りです。けれど、昨年度同様、生徒貸出し冊数が一人当たり1冊程度と なっています。もっと本を読みましょう。図書館にGo!!



2020  
上半期  
芥川賞



直木賞



(今回の図書館だよりを担当した2-1)  
図書委員2人のおすすめ本



## 『永遠のゼロ』 百田 尚樹 著

大学生の佐伯健太郎と、その姉 慶子が神風特攻隊として戦死した、祖父 宮部久蔵の謎を追い、祖父と同じラバウル航空隊に所属していたという人物に話を聞かす「海軍航空隊一の臆病者」と、2人に蔑みの言葉をぶつけた。

困惑し、調査を行う気を失いかけた健太郎だったが、生前の久蔵を知る様々な人物から異なった評価がなされ、より久蔵の謎が深まっていく。戸惑いつつも二人は、国のために命を捧げるのが当然だったと言われる戦時下の日本と、そこに生きた人々の真実を知っていく。

凄腕の零戦乗り久蔵の真実是如何に。



## 『そんな夜更けにバナナかよ』 渡辺 一史 著

鹿野靖明は全身の筋力が徐々に衰えていく進行性筋ジストロフィーという難病を抱え、体で動かせるのが首と手だけ。24時間誰かの介助がないと生きていけない体にも関わらず医師の反対を押し切って病院を飛び出し、自ら集めたボランティアたちと自立生活を送っている。夜中に突然「バナナが食べたい」と言い出し自由すぎる鹿野にボランティアの一人田中はいつも振り回されている。そんな鹿野はたまたま訪れた田中の恋人に一目惚れしてしまう始末。破天荒な毎日を送るノンフィクションの作品です。是非、読んでみてください!!